

## 学会通信

2020年活動報告（敬称略）

### （1）第21回総会

2020年1月25日（土）午前12時45分～午後5時20分

於：早稲田大学36号館682教室（戸山キャンパス）

#### 1. 研究発表（所属は発表当時）

前川明穂（早稲田大学 人間科学研究科）

「現代日本で YOGA する人びと—ところ・からだ・語りから—」

#### 2. 第3回学会奨励賞受賞式

学会奨励賞受賞者・古川勇氣氏「ペルー北部山村のチーズ技術供与における開発支援者の期待と農民の実践」

西村会長より古川氏に賞状が授与された。

#### 3. 総会

司会（酒井貴広）

議事（議長：松田俊介、書記：工藤久貢）

事務の理事より、以下の提案および報告があり、審議が行われた。

##### a. 2020年役員選出

会長、副会長2名、および理事12名の選出が提案され、承認された。

##### b. 2019年事業報告

スライド資料に従って報告され、承認された。

##### c. 2019年決算報告

スライド資料に従って報告され、承認された。

##### d. 2020年事業計画案

スライド資料に従って、2019年の事業に準ずるものに加え、日本文化人類学会との共催シンポジウムの開催などが報告され、承認された。

##### e. 2019年予算

配布資料およびスライド資料により報告が行われた。出版費は、2019年分の紙媒体学会誌に加え、2020年末に刊行予定の電子媒体の学会誌分となっていること、2019年末付で請求があった外部委託している学会管理業務の業務委託費、また日本文化人

類学会との共催シンポジウムで一部負担が予想される講師等への謝金等を予算に計上している点が説明され、承認された。

f. 学会名称変更

昨年総会でも名称を募集し、理事会で検討した結果、「現代文化人類学会」（英語名 Japanese Society for Current Anthropology）に変更することが報告された。

変更理由としては、（１）早稲田大学に限定されたイメージを払拭するため、そして（２）現代文化人類学とすることで、文化人類学の多様なテーマを網羅できるからと説明された。

審議において以下の質疑応答を経て承認された。

変更について必然性が感じられず、変更に至った理由・経緯をもう少し詳しく説明を求められ、早稲田関係者中心であるというイメージを払拭しきれずにいたため、より多くの学会員を獲得し、今後の学会運営における学術面、費用面でポジティブな効果を期待して、数年間の検討・議論を経て、今回の名称変更に至った旨を回答した。

g. 会則改正

学会名、5、6、7、10、15、16、17、18条、および付則について、配布資料と口頭で報告され、以下、質疑応答を経て承認された。

学会名称変更に伴う学会の方向性を懸念するご意見をいただき、会則2条に記載の目的以上のことを、方向性として会則に加える必要はないと考えるが、他から同様の懸念があるのは承知しており、会員から意見を伺いつつ、理事会を中心に議論・検討をして、改めて公の場で説明ができるようにしたい旨を回答した。

h. その他

以下学会誌電子化について説明のうえ、提案を行い、承認された。

① 学会誌の電子化の委託先として株式会社ジェイピーシーを設定したことについて、見積比較からのコスト面、また実績面から、その妥当性を説明した。

② 学会誌の各会員への配布、閲覧方法を説明した。

## 2020年1月25日(土) 早稲田文化人類学会総会資料

## 2019年収支決算書

2019年1月1日～2019年12月31日

収 入		支 出	
会費	¥879,000	印刷製本費	¥559,620
		会場施設費	¥0
会誌売上金	¥0	事業費	会議費 ¥12,235
前年繰越金	¥1,604,964		通信運搬費 ¥6,120
学会補助金	¥427,411		事務用品費 ¥5,152
雑収入	¥38,347		複写費 ¥2,000
		事務費	業務委託費 ¥0
			謝金 ¥101,600
		人件費	交通費 ¥0
			振込手数料 ¥432
		その他	雑費 ¥34,708
			次年繰越金 ¥2,227,855
合計	¥2,949,722	合計	¥2,949,722

## 2020年収支予算書

2020年1月1日～2020年12月31日

収 入		支 出	
会費	¥880,000	出版費	¥910,000
		会場施設費	¥0
会誌売上金	¥20,000	事業費	会議費 ¥20,000
前年繰越金	¥2,227,855		通信運搬費 ¥20,000
学会補助金	¥670,000		事務用品費 ¥10,000
雑収入	¥10,000		複写費 ¥20,000
		事務費	業務委託費 ¥240,000
			謝金 ¥200,000
		人件費	交通費 ¥10,000
			振込手数料 ¥500
		その他	雑費 ¥30,000
		予備費	¥2,347,355
合計	¥3,807,855	合計	¥3,807,855

## シンポジウム

時間 14:20～17:20

テーマ “身体の零度” を超えて：ドーピング・パラリンピック・呪術  
 <パネリスト>

竹村 瑞穂 (日本福祉大学)

「アスリートの身体：ナチュラルとアンナチュラルのはざままで」

渡正 (順天堂大学)

「スポーツにおける身体の範囲」

真島一郎 (東京外国語大学)

「再び見いだされた《外》：西アフリカ・稲垣正浩・竹内敏晴」

<コメンテータ>

小木曾航平（広島大学）

<コーディネーター・司会>

中嶋哲也（茨城大学）

**（2）第23回研究集会**

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

**（3）理事会**

理事会は、以下の日程で行なわれた。審議内容はおもな議題のみを記した。すべての議事録は事務局に保管されている。

**第43回 2020年1月25日（土）**

1) 審議事項

- a. 2020年（第21回）総会・シンポジウムについて
- b. 2019年決算・監査および2020年予算案について
- c. 2020年役員および事務局など学会全体の体制について
- d. 会則の変更・確認について
- e. 2020年5月29日（金）日本文化人類学会第54回研究大会シンポジウム（JSCAと共催）について
- f. 企画について
- g. 学会誌電子化後の紙媒体発行について
- h. その他

2) 報告事項

- a. 会員数動向および財務状況について
- b. 編集委員会
- c. 2020年度日本文化人類学会研究大会について
- d. その他

**第44回 2020年6月20日（土）※Zoom開催**

1) 審議事項

- a. 2021年1月総会・シンポジウムについて
- b. 高校生企画延期の件

- c. 2021年6月～7月の予定
  - d. 今後の学会体制について
  - e. その他
- 2) 報告事項
- a. 会員数動向および財務状況について
  - b. 編集委員会
  - c. 企画の開催報告
  - d. 日本文化人類学会第54回研究大会開催報告
  - e. その他

#### (4) 編集委員会

編集委員会は、以下の構成および日程で行なわれ、学会誌21巻に関する特集原稿・投稿原稿の査読依頼・審査などの編集業務を担当した。

#### 1. 構成

編集委員長

石田智恵

編集副委員長

箕曲在弘

編集委員 (50音順)

相原健志   碓陽子   砂井紫里   塚原伸治

照山絢子   中嶋哲也   濱雄亮

#### 2. 開催日程

第60回 2020年4月4日(土)

第61回 2020年8月28日(金)

#### (5) 学会誌

『文化人類学研究』第21巻が2021年1月21日に刊行され、J-STAGEにて公開された。

#### (6) 会員動向 (刊行物出版)

なし

**(7) 受贈図書・雑誌要目**

慶應義塾大学東アジア研究所

- ・『慶應義塾大学東アジア研究所ニューズレター』 No.33、2020年6月。

成城大学大学院文学研究科

- ・『日本常民文化紀要』 第35輯、2020年3月。

東北大学大学院文学研究科 文化人類学研究室

- ・『東北人類学論壇』 第18号、2019年3月。

**(8) 会員数**

上記の学会活動の結果として、2020年12月15日現在の会員数は176名となっている。

(事務局)